

# 「家がいいね」 第192号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020.5.1

難問は「ぎっくり」と考えましょう



藤の名所も、公開されず写真提供のみとは残念です。外出自粛の非常事態宣言が、いつ解除されるか待ち望む気持ちで焦らないようにしましょう。大局観を持てば長期戦なのは明らかです。収束は、五輪の如くの政治的交渉では解決しません。物理学者でもあるメルケル首相は3月上旬に、「6割は感染する予測もある。が何をしても同じだというわけではない」と明確な取り組みの宣言をしました。状況判断を共有することが、厳しい長期戦の前提です。些細な事や期限に迷い、右往左往しては難問の解決は遠ざかるばかりです。

マスクが必要な世界の物語 (アニメ)



不思議な事実に気付きます。皆が怖がる腐海生物のシステムこそが、汚されてきた水と大気を清浄にすることに寄与しているのではないかと。理解できぬ大人たちは互いに戦争と殺戮を深めて行きます。しかもマスクを取ると肺は損傷するのです。

## 風の谷のナウシカ

を紹介しします。人類滅亡寸前の未来。毒ガスを吐く菌の森。腐海が広がる中、姫君の冒険の物語。胞子を採り育てる虫を愛でる姫君は、

マスクを外す時が来た!

腐海の真上で空中戦があり、貢ぎ物を使ったグライダーは墜落の危機に。老侍従たちは「姫様、おさらば」と大混乱。助けに向かったナウシカは、「私の言うことを聞きなさい」と、息を止めマスクを取って笑顔を見せます。それに仰天、我を取り戻した侍従たちは不時着に必死に取り組みます。絶体絶命の非常事態の中、生きる努力を最後まで忘れるなど、覚悟を決めての胆力は、このように相手を思っている行動と共に生じると感じます。この物語は、宮崎駿の原作。高度文明が破綻した世紀末的な危機に、さらに人工知能が絡んでいるという超難問を提示しましたね。



落ち着く先のひとつの予測ですが

10年前の新型が、今は季節性に入れ替わったインフルエンザの対応に似てくれたらと思います。感染者をいたわる一方、重症者も過剰な感染防御を緩めて集中治療できる体制になってくれたらと。感染は簡単に国境を超えていくのですが、私たちの気持ちに幾つもの境界線を作ってきた傷跡の修復は容易でないと、今からすでに思います。幸福は経済成長とリンクしているのではなく、相手を思う気持ちで育まれると心に刻みたいのです。

休診日のお知らせ

5月30日(土)は臨時休診します。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可